

令和3年8月20日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会

1 日 時 令和3年8月20日(金曜日)

午前10時から午前11時まで

2 場 所 教育委員会会議室

3 出席者

教育長 金澤 俊道 委員 鷲尾 達雄 委員 青柳 由美子
委員 大久保 真紀 委員 荒木 正

4 職務のため出席した者

教育部長	安達 敏幸	子ども未来部長	水島 幸枝
教育総務課長	水島 正幸	教育施設課長	吉田 朗
学務課長	青木 佐土子	学校教育課長	中山 玄
学校教育課主幹兼管理指導主事	涌井 良平	学校教育課主幹兼管理指導主事	小畑 活
学校教育課主幹兼管理指導主事	神林 俊之	中央図書館長	佐藤 陽子
科学博物館長	小熊 博史	子ども・子育て課長	田中 剛
保育課長	恩田 立也	学校教育課企画推進係長兼指導主事	佐々木 潤

5 事務のため出席した者

教育総務課長補佐	江田 綾子	教育総務課庶務係長	内藤 貴幸
教育総務課主査	本田 雄一		

6 議事日程

日程	議案番号	案 件
1		会議録署名委員について
2	第 30 号	令和 2 年度教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価報告書について
3	第 31 号	補正予算の要求について
4	第 32 号	長岡市教育委員会表彰被表彰者の決定について

7 会議の経過

(金澤教育長) これより教育委員会 8 月定例会を開会します。

◇日程第 1 会議録署名委員について

(金澤教育長) 日程第 1 会議録署名委員の指名を行います。会議録署名委員については、長岡市教育委員会会議規則第 19 条第 2 項の規定により、青柳委員、大久保委員を指名します。

◇日程第 2 議案第 30 号 令和 2 年度教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価報告書について

(金澤教育長) 日程第 2 議案第 30 号 令和 2 年度教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価報告書について を議題といたします。事務局の説明をお願いします。

(安達教育部長) 6 月 30 日に事務評価委員会を開催し、事務局からの説明及び質疑応答を行いました。その後、8 月 16 日に事務評価委員会から「点検及び評価結果」の提出がありました。全体を通しての事務評価委員会の意見として、「長岡市教育振興基本計画」に沿って着実に施策が実施され、成果を挙げていることや新

型コロナウイルス感染症の影響により、事業計画の変更を余儀なくされながらも、目的を達成するために柔軟な対応をしていることと、あわせて、現状を冷静に見極め、教育効果を上げるための建設的な取組を行っており、緊急的な対応の求めにも、最善を尽くしている印象を受けることなどの高い評価をいただきました。一方で、コロナ禍では、対外的な業務において最善策を講じていると考えられるが、定例会や教育委員会内部における業務についても、率先して状況に応じた手段に変えていくことが必要であると考えたり市全体の課題である人口減少に歯止めをかけるため、教育行政としても具体的な施策の検討が必要であることのほか、大学や附属学校・園等、市内所在の教育機関・研究機関とのより一層の連携強化を望むという要望をいただきました。教育委員会の開催及び審議状況等についての意見と、教育委員会における事務の点検・評価についての意見は報告書のとおりです。いただいたご意見を参考に今後より良い教育環境や効果的な事務事業につなげていきたいと考えています。また、評価報告書本体については、6月10日の教育委員会協議会でいただいたご意見と事務評価委員会のご意見を反映させ一部修正を加えております。最後に、本日決定する評価報告書については、9月議会に提出し、報告します。説明は以上です。

(金澤教育長) 御質疑・御意見はありませんか。

(鷲尾委員) 事務評価委員の全体を通しての意見にある、「教育委員会内部における業務についても、率先して状況に応じた手段に変えていくことが必要であると考え」ということについて、具体的な説明をお願いします。

(水島教育総務課長) これは、コロナ禍での会議においては、これまでのように集まって会議を行うのではなく、自宅からのオンライン会議により開催するなど工夫して実施することでコロナ対策になるという意見をいただいたものです。

(荒木委員) 同じく全体を通しての意見にある、「市全体の課題である人口減少に歯止めをかけるため、教育行政としても具体的な施策の検討が必要である」ということに対して、長岡市ではどのような施策を想定していますか。

(水島教育総務課長) この要望に対しては、事務評価委員から具体的な施策例についての話はなく、報告書全体の意見としていただいたものです。

(荒木委員) 以前、人口減少について、今から検討していかなければ深刻な問題に

なるという報道がありました。私は、合併地域で複式学級設置校がいくつもでき
てしまう教育環境は好ましくないと感じます。例えば、小さな学校では、そこが
地元だと思っけていても、統合により一定規模の学校になると地域全体が自分のふ
るさどであるという見方に変わってきます。これまで、そこだけが地元だと思っ
ていたのが、統合することによって広い地域が地元という見方に変わり、子ども
の見方も変わってきます。

(金澤教育長) 長岡リジュベネーションにおいても、長岡市の将来人口として 23
万 5,000 人を維持するため、教育委員会をはじめ、各部門ごとに対策を講じてい
ます。これが人口減少に対する施策になるものと考えています。また、事務評価
委員の意見は、人口減少の歯止めということですので、人口減少が進んでしまっ
たときの対応ではなく、人口減少に歯止めをかけるための対策ということになり
ます。そのため、この意見に対しては、市が行っている対策をより具体的に実行
性のあるものにしていくことが我々の仕事なのだろうと思います。

(荒木委員) やはり必要な対策を早急に検討し、人口減少に歯止めをかける必要が
あると感じます。

(金澤教育長) 教育委員会では、長岡市で子育てをしたいと思う人の割合の目標値
を設定しているので、人口減少に歯止めをかけるという面でその役割を担ってい
ると言えます。

(鷲尾委員) 私は、人口減少に歯止めはかからないと思っています。歯止めをかけ
るための施策を行うのではなく、人口減少を前提とした教育環境をつくることが
我々の使命であり、長岡市教育委員会として取り組むべきことは、人口減少を前
提とした平等な教育環境を整えることだと思います。

(荒木委員) 小規模校は小規模なりに大変頑張っています。しかし、平等という観
点から複式学級のある小学校の場合、教師が 3、4 人しかいないのが現状です。
また、それぞれの教科の教員が揃っていることでその学校の教育の質は上がりま
す。そのため、少なくとも基本的な教科の教員が揃っていないと教育レベルは落
ちてしまいますので、行政としてはこれを保障していく必要があります。最後に、
長岡市は米百俵と人材育成という言葉をよく使いますが、「人材」という言葉は、
素材などで使われるように何かの一部という印象があるため、これからは「人づ

くり」という用語にシフトして行ってほしいと思っており、これは長岡の目指す教育の本質に近い感じがします。また、果たしてどれだけの教職員が米百俵の精神を知っているのか不安があります。いまだ多くの人が救援米の百俵の米を売って学校を建てたと認識している状況も見られることから、本来の意味が浸透するような施策が必要です。

(金澤教育長) これより採決に移ります。本件は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(金澤教育長) 御異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり決定いたしました。

◇日程第3 議案第31号 補正予算の要求について

(金澤教育長) 日程第3 議案第31号 補正予算の要求について を議題とします。事務局の説明をお願いします。

(水島教育総務課長) 教育総務課は、歳入補正額、歳出補正額ともに25万円です。学校図書館図書充実のための寄附の申出があり、寄附者の意向に沿い、中学校図書を25万円分購入するものです。

(中山学校教育課長) 次に、学校教育課は、歳出補正額803万8千円です。これは、Edu-Diver 構想推進事業費です。Edu-Diver 構想の考え方につきまして、これまでの定例会でも説明していますが、より長岡らしさを活かした多様な学びを展開していくために、WEBサイトの開発による長岡式双方向型教育情報プラットフォームを構築するための組織を立ち上げてスタートするものです。企業や高等教育機関があるという長岡の特徴を活かして、多様なコンテンツやミニカリキュラム等を情報発信できるように、1人1台タブレットの環境のなかにこのWEBサイトを構築します。そのための経費としては、構築に向けてのIT技術に知見を有する専門家からのアドバイスに対する謝金と委託料です。委託料のうち、1つは、試験の工程をすべてコンピューター上で行うシステムであるCBTについて、子どもの学力の実態把握と教員の業務負担軽減を図るための導入実証を委託するものであり、もう1つは、8

月末にプラットフォーム準備委員会を立ち上げて、教育情報プラットフォームとコンテンツの研究開発に向けて委託するものです。さらに、日本語指導を要する外国籍児童生徒に対する支援として、これまで長岡市のオープンイノベーションでも実証検証してきましたが、多言語映像通訳サービスの利用料です。補正の内容は以上です。

(田中子ども・子育て課長) 続いて、子ども・子育て課は、歳出補正額 2,820 万 7 千円です。これは、令和 2 年度に実施した児童手当をはじめ、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、国が子ども 1 人につき、1 万円を臨時的に支給した給付事業と子ども・子育て支援事業で実施した豊田第 2 児童クラブ整備事業について、事業費の確定に伴い、国・県からの交付金を精算し、返還するものです。

(恩田保育課長) 最後に、保育課は、歳出補正額は、1 億 3,320 万 5 千円です。これは、令和 2 年度と一部令和元年度の私立認可保育園、認定こども園、地域型保育事業保育事業者等への委託費や給付費に係る国・県交付金をはじめとした事業費確定に伴う国・県への返還金です。

(金澤教育長) 御質疑・御意見はありませんか。

(鷲尾委員) CBT 導入実証と推進研究開発の委託先については、コンペ形式で業者を選定するのですか、それとも、過去の実績に基づいて特定の団体を指名形式とするのですか。

(中山学校教育課長) 現在のところ、事業に関わりのある IT 関係の協同組合やこれまで実証検証で関係のある企業を準備委員会のなかに入れることを予定しており、それぞれの得意分野を活かした共同体に委託することを想定しています。

(鷲尾委員) 共同体への委託ですと、なおのこと、長岡市側のコントロールタワーとして、この分野に知見を持った人が内部にいないと、丸投げで想定通りにいかないといったことが考えられます。そのようなことが起こらないように管理できる体制になっているのでしょうか。

(中山学校教育課長) 4 大学 1 高専を含めたプラットフォームとなりますので、関係部局から係長級の職員を含めるとともに、幅広く意見をいただけるように、4 大学 1 高専のほか、企業からも参画いただく予定です。いただいた意見をもとに、話し合いの方向を見定めて検討を進めていきたいと考えております。

(鷲尾委員) 多様な専門家集団をまとめ上げられるように、事務局の機能がしっかりしていないと迷走してしまう恐れがあります。そのため、長岡市側の体制で知識や専門家とまではいかないまでも、指揮できる人がいないと不安を感じます。

(安達教育部長) 今回の CBT 自体は試験的、試行的に導入するものであり、プラットフォームの構築については、本格的には来年度に予算要求して、しっかり取り組んでいくところでもあります。現在は、基礎的な考えをまとめる段階であり、専門的な知識も入れ、教育委員会としての考えも入れながら、長岡市としてもコントロールできるようにしていきます。ご指摘いただいた専門的知識のある人がコントロールすることも重要ですが、話合いのなかでコントロールしつつ、必要に応じて庁内にある専門部署の職員を交え、連携して進めていきたいと考えております。

(大久保委員) これだけ豊富な Edu-Diver 構想の事業を進めるためには Wi-Fi 環境が重要になると思われませんが、学校に入っている Wi-Fi 環境は、生徒数に応じた仕様になっているのでしょうか。例えば、大きな学校では、人数が多くて実施できなくて、他の学校では実施できるというようなことが起こってしまうことはないのでしょうか。

(水島教育総務課長) 今年度の工事実施により、環境整備を進めているところです。

(金澤教育長) これより採決に移ります。本件は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(金澤教育長) 御異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり決定いたしました。

◇日程第 4 議案第 32 号 長岡市教育委員会表彰被表彰者の決定について

(金澤教育長) 日程第 4 議案第 32 号 長岡市教育委員会表彰被表彰者の決定について を議題とします。

(金澤教育長) 定例会前に実施した表彰ヒアリングを踏まえ、各表彰候補者について、被表彰者として適している否かを決定します。対象者は、条項第 6 号の 11 名、第 7 号の 2 名、第 8 号の 3 名です。全員を「適」として決定したいと思っておりますが

かがでしょうか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(金澤教育長) それでは候補者全員、「適」と決定します。よって、本件は原案のとおり決定しました。

(青柳委員) 1つ確認したいことがあります。このたび、定例会前の表彰ヒアリングで故人の候補者がいました。所属からご家族に表彰について伺ったところ、ぜひ表彰いただきたいというお話でしたが、この点について、どのようにご家族に対してお声がけしていたのか説明をお願いします。

(田中子ども・子育て課長) 母子保健推進員をされている候補者がお亡くなりになったという事実を協議会を通じて一報が入り、事務局内部で在職年数を確認したところ、表彰基準を満たしていることが判明しました。そのため、ご家族に表彰させていただきたい旨をお話ししました。

(青柳委員) 教育委員会側から表彰させていただいたというお話をされたということでしょうか。

(田中子ども・子育て課長) そのとおりです。

(金澤教育長) 以上をもって、本日の議案の審議は終了しました。

(金澤教育長) 次に、協議報告事項に移ります。初めに、令和3年度全国学力・学習状況調査について、事務局の説明をお願いします。

(中山学校教育課長) 令和3年度全国学力・学習状況調査について、本来ならば5月27日が調査実施日のため、直近の定例会で報告すべきでした。このたび、遅れての報告となりますが概要を説明させていただきます。市内全小学校6年生、中学校3年生を対象に、国語、算数・数学の教科に関する調査及び生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査が実施され、市内81の小中学校が参加しました。なお、当日に新型コロナウイルス感染症による休校措置が取られた小学校1校は6月8日に実施しました。従来の「主として『知識』に関する問題(A問題)」と「主として『活用』に関する問題(B問題)」に区分するといった整理を見直して、一体的に調査問題が構成されています。「教科に関する調査」実施問題の分析では、「知識

及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」という三つの柱に基づいて再整理されており、各教科の調査問題は、この趣旨を踏まえた枠組みで構成されています。全体的な特徴としては、問題の文脈に沿って複数の情報を関連付けて解いたりするなど、活用力や読解力が身に付いているかを重視して出題されています。調査結果については、各教育委員会へは8月24日に、各学校へは8月27日に提供されます。また、報道等には8月31日午後5時に公表されます。この調査結果の提供について、長岡市教育委員会では、個人情報の特定が懸念される小規模校を除き、希望する大学等の研究機関に対し調査結果等の提供を行うこととしています。なお、公表を踏まえ、詳細な調査結果及び分析結果については、9月定例会で報告いたします。

(金澤教育長) 御質疑・御意見はありませんか。

(金澤教育長) 次に、附属機関等会議報告について事務局の説明をお願いします。

(佐藤中央図書館長) 7月28日に開催した第1回長岡市図書館協議会について報告します。会議内容のうち、報告事項は、令和2年度長岡市立図書館の活動評価についてであり、これは令和2年度末までの利用実績をもとに評価を行うものです。また、協議事項は、令和3年度長岡市立図書館の活動評価の目標設定(案)についてです。会議での主な意見は、「図書貸出カードを持っていて利用している有効・実登録者数は、ともに昨年度は減少しているが、コロナ禍だとむしろ増加しそうなものだと思う」ということに対しては、「図書館では不特定の人が本に触れるので、それを避けたいという人がいる。また、イベント中止による影響が考えられる」と回答しました。さらに、「活動評価の個人貸出冊数の目標値をコロナの影響を考慮した予測値からさらに2%増やす理由は何か」という質問に対しては、「コロナ禍ではあるものの、イベントや広報などを通じて、個人貸出冊数をさらに増やしていきたいと考えたものであります」と回答しました。

(佐藤中央図書館長) 続いて、7月5日に開催した第1回長岡市栃尾美術館協議会について報告します。会議内容は、報告事項として令和2年度後期事業報告、令和3年度事業計画(案)について、収集資料についてです。また、協議事項は、栃尾美術館事業の今後の方向性についてです。会議で出た主な意見としては、「来月開催するリサとガスパール展は、県内では新発田市の蕨谷虹児記念館でも開催している

ため、連携して大々的なPRをしたらどうか」という意見でした。これに対して、「PRとしては、チラシを配布する予定であるが、栃尾美術館は予約制ではないので、たくさんの来場者があると入場制限をかけなくてはならなくなる。そのため、多くの人に来場してほしいものの、チラシの配布は県外では行わず、近い範囲のみで行っていく」と回答しました。

(小熊科学博物館長) 続いて、7月12日に開催した第1回長岡市水族博物館協議会について報告します。会議内容は、令和3年度事業実施計画・状況について、水族博物館整備事業の計画(概要)について説明しました。会議では、表示等の設備やパンフレット、今年度から製作を始めたオリジナルグッズについて意見がありました。最後に、毎年施設の改修を進めていますが、今後、新しい水族館を検討していく場合は、寺泊地域の特性をよく考えて計画してもらいたいという意見がありました。

(田中子ども・子育て課長) 最後に、7月19日に開催した第1回長岡市子ども・子育て会議について報告します。会議内容は、令和3年度子ども・子育て会議のスケジュールについて、令和2年度子育て支援施策の実施状況、令和3年度子育て支援施策の主なものを説明しました。また、児童クラブの将来的なあり方を検討するために、子ども・子育て会議の作業部会としてワーキング部会を設置し、具体的な施策の検討に着手すること及びその内容について議論いただくことを説明し、了承を得ました。出席した委員からは、放課後児童クラブの時間帯における人員配置や産後ケアが必要な方が増えていることへの対応について質問をいただき、いずれも現状は対応していること、今後もしっかり取り組んでいくことを回答し、長岡版コミュニティスクールについても意見交換しました。最後にアドバイザーからは、「まだまだ大人の思いで動いているところがあるので、これから子どもファーストを実現していくため、どのように事業を変えていくかが課題である。さらに、本来やるべきものが、新型コロナウイルスの関係で実施できなかったのであれば、今後どのように補っていくか、どういった方法であれば実施できるかを検討していくべきである」として会議をまとめていただきました。

(金澤教育長) 御質疑・御意見はありませんか。

(青柳委員) 他市では、コロナ対策として図書の消毒器を設置しているところがあ

りますが、長岡市の対応はどのようにお考えですか。

(佐藤中央図書館長) 長岡市は昨年、利用者が自由に使えるように消毒器を設置しており、利用が進んでいます。

(青柳委員) 消毒器を設置してもなお、不特定の人が触れる図書を避けたいという方が多いということでしょうか。

(佐藤中央図書館長) そのとおりです。

(鷲尾委員) 新しい水族館を検討していく場合ということについて、どのような意図で質問されたのでしょうか。また、地域の特性とはどのようなことが想定されるのか説明をお願いします。

(小熊科学博物館長) まず、この質問の意図についてですが、新しい水族館の将来的な構想は、これまで市長部局の地方創生推進部政策企画課が検討しておりましたが、昨年度末に業務の見直しが行われ、市長から新たな水族館の構想については教育委員会で行うよう指示が出ました。これを受け、今後の新しい水族館の構想は科学博物館が担うという説明をしたことに対して質問が出たものです。また、地域の特性を考えてというのは、新潟市にはマリンピア日本海、上越市にはうみがたりが整備されていることから、これらの施設と競合がないように寺泊の特色を出してほしいという意見をいただきました。

(青柳委員) 4種類のパンフレットがあって、一人が数種類持っていくとありますが、それぞれの別内容の種類ということであれば、持って行ってよいということではないのでしょうか。

(小熊科学博物館長) あっという間にパンフレットがなくなってしまうので、現在、入れ替わりで出させていただいています。パンフレットの設置サイクルをよく検討し、来館者が困惑することのないようにしたいと考えています。

(鷲尾委員) 子ども・子育て会議で、新型コロナウイルス感染症により、本来やるべきものが実施できなかったということはあったと思いますが、逆にこれまでやめられずにいた事業というものはありますか。

(田中子ども・子育て課長) 効果的に削減につながったというものはありませんが、昨年が大きな転換期になった事業はあります。たとえば、各支所地域で実施していた少年体験活動がストップしたり、家庭教育講座ができなかったということがあり

ましたので、そうした時期をとらえて、今後の在り方を見つめ直し、やるべきこと・やらないことの整理を始めたところです。ただ、パパママサークルは大変好評で、オンラインにより開催したところ、スウェーデン在住者からの参加があり、時差を考慮して開催するなどしました。このように業務を見つめ直す機会として、実施内容の見直しをかけたということはありません。

(荒木委員) 話は逸れてしまいますが、先日いただいた大久保委員が作成した生徒指導だよりは絶品だと感じています。長岡市の教職員からなる生徒指導研究会が発行しているものですが、家庭教育の1つとして波及していくことを考えてみてもよいと思います。例えば、鷲尾委員がPTA会長をされていたときには、携帯電話の所有の在り方をPTAが行っており、最後は保護者が責任を持って、あのとき長岡市をリードしていました。このように学校や教育委員会が強制的にではなくて保護者の声が大きくなうねりになって、広がっていくことは意味があることだと思います。また、先の大久保委員の子どもとの真剣な話を通して、親子で考えるということを通じて子ども・子育て会議等でも紹介していただきたいと思います。

(金澤教育長) 他に御質疑・御意見はありませんか。

(金澤教育長) 御質疑・御意見なしと認めます。

(金澤教育長) 以上で、協議報告事項を終了します。

(金澤教育長) それでは次に、催し案内等について、補足説明のある者は挙手願います。

(中山学校教育課長) 教育センターで開催する催しを御案内します。1つめは、夏休みに標本づくりにチャレンジした子どもの作品を募集し、その作品展を9月29日から長岡市立劇場と教育センターを会場に行います。2つめは、熱中・感動・夢づくり教育事業の1つとして行う科学探究塾です。全6回のコースで、事前申込した小学校5年生から中学校3年生までを対象とし、定員20名で行います。

(佐藤中央図書館長) 中央図書館からは、あなたのイチオシ募集！おすすめの子どもの本募集です。今年度、中央図書館で作成する子どもたちにおすすめしたい本のリストを作る参考にするために、現在、アンケートを行っています。続いて、夜の図書館を楽しもう～中央図書館24時～です。昨年11月に実施して好評でしたが、今年度は少し暖かい時期の9月に変更して実施します。夜中の午前0時までくつろ

いでいただき、イベントを楽しんでいただきたいと思います。最後に、日本デビュー20周年記念リサとガスパールのおもいで展についてですが、ほどほどに来館いただきたいと思います。

(小熊科学博物長) 科学博物館からは、まずアルパカ特別展示についてです。春に引き続いて山古志からアルパカ2頭を借用して9月18日から展示します。続いて、旧長谷川家住宅での草笛ミニコンサートです。来場者には草笛を楽しんでいただきたいと思います。最後に、企画展「寺泊水族館90周年のあゆみ」です。すでに開催中ですが、昭和6年8月21日に上越線の開通記念ということで、当時、博覧会が長岡市で行われました。その第2会場である寺泊では初代寺泊水族館が開館しました。現在は三代目で、今年で創設90周年を迎えることから開館当時の写真を中心にパネル展示を行うイベントを実施したり、オリジナルグッズを販売したりします。

(田中子ども・子育て課長) 子ども・子育て課からは、ながおか・放課後子ども通信の第2号を作成しましたのでご覧ください。

(金澤教育長) 御質疑・御意見はありませんか。

(青柳委員) 先ほどの消毒器の質問に関連して、気になさる方にとっては図書館内に消毒器が設置してあることがわかると安心できるので、作成するイベントチラシにもそのことを記載してPRできるとよりよいと思いました。

(佐藤中央図書館長) 参考にさせていただきます。

(金澤教育長) 中央図書館のおすすめしたいの本のリストは、年代別に50冊とするのですか。それとも、赤ちゃんから中学生までを1つとして50冊とするのですか。

(佐藤中央図書館長) 現在、選定委員のなかでは、赤ちゃんから中学生までに対するおすすめを50冊にしようと検討しているところです。

(金澤教育長) それでは、各年代向けに何冊というように決めるということでしょうか。

(佐藤中央図書館長) その通りです。例えば、小学校低学年向けに20冊といったようなことを検討しています。

(金澤教育長) わかりました。

(金澤教育長) その他、御質疑・御意見はありませんか。

(金澤教育長) 以上で、本日の定例会を閉会します。

会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会教育長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員